



職員互助会総会を開催

会長 北面 豊

令和4年度慶徳会職員互助会総会を6月9日に本部研修室で開催しました。コロナ禍により、今年も委任状の提出を頂いた上での3年連続となる役員出席による総会となりました。

委任状186名、総会出席者12名の計198名（全会員数215名）により、決算・予算、新年度役員及び年間行事のすべてについて承認を受けることができました。

令和3年度もイベント等の開催を見送るなど、会員の皆様のご期待に添えず、少しでも還元ができたかと考え、ギフトカードやカタログギフトの配布とともに「旅行積立金」を半額の月1,000円に引き下げさせて頂きました。

わが国でも近時、屋外でのマスク着用の緩和等も進められつつある状況も踏まえ、法人内調整を図りながら、適切にイベント開催ができることを切に望んでいます。

なお、新年度の役員会では、野外でのハイキングやマラソン大会、映画チケットを配布し、個々で映画鑑賞して頂くことなどを提案していますが、グッドアイデアがあれば、役員にお寄せ頂ければ幸いです。

会の目的である職員の親睦を深め、法人の発展に寄与できるよう、これからも職員互助会をよろしくお願い致します。



総会で挨拶する理事長

新 理 事 ・ 評 議 員 紹 介



小濱 由紀 理事



堀川幾代 理事



山野 文枝 評議員

田村信夫理事及び油谷 豊理事並びに堀川幾代評議員が退任されたことに伴い、令和4年6月13日開催の評議員選任委員会において、元畑田地区民生委員・児童委員の山野文枝さんが新評議員に、同月23日開催の評議員会において、豊川地区民生委員・児童委員の堀川幾代さん及び小濱由紀法人統括栄養士が新理事に選任されました。任期は令和7年4月から6月の間に開催する定時評議員会の終結時までです。

小規模多機能3センターには、4人のベトナム国籍の職員が働いています。

そのうち、「なでしこ」のチャン・ティ・ランさんは、来日して1年間日本語を学んだ後、臨時職員として2年間「なでしこ」で働きながら介護福祉士養成学校に通い、令和4年4月から介護正職員として採用になりました。

「経験不足や言葉の問題で対応が上手くいかないこともあります」と正職員としての責任の大きさを感じながらも、持ち前の明るさと優しい人柄で、自然と周囲の人を笑顔にしてくれます。

「なでしこ」のもう一人は、チャン・ティ・タイン・ホアさんで、同年の4月から介護福祉士養成学校に通いながら、勤務しています。

「学校で学んだことを施設で実践できるのでとても有り難く思います」と謙虚に話し、一つひとつの仕事やご利用者のケアに真面目に丁寧に取り組んでいるのが印象的です。

二人が折に触れて母国語を交えながら介護のことを熱く話していたり、真剣に仕事

に取り組む姿には、他の職員も多くのことを学ばせてもらっています。

「はぎ」では、同3年2月から、臨時職員としてグエン・ティ・トゥイ・ズオンさんに来てもらっています。母国で看護師の免許を取得した後、

ますが、キャリア半年足らずで、職員や利用者とのコミュニケーションを深め、お国のことを気軽に紹介してくれたりする人気者です。今から立派な介護職に成長するのが目に見えるようです。



ランさん(左)と
ホアさんの
「仲良しツーショット」

～小規模多機能センターの巻～ 外国籍職員の紹介「第2弾」



ズオンさん

「なでしこ」
チャン・ティ・ランさん
チャン・ティ・タイン・ホアさん
「はぎ」
グエン・ティ・トゥイ・ズオンさん
「ききょう」
ホアン・ミン・タンさん



写真を使った
レクリエーションで
「大ウケ」のタンさん

「ききょう」は、ホアン・ミン・タンさんで、同3年の4月から介護福祉士養成学校に通いながら、勤務しています。

日本留学歴は8年目で、日本語検定1級を取得し、日常会話に殆ど支障がありませんが、介護職は初めてで、当初は随分戸惑いもあり、ご利用者から何度もお叱りを受け、「どう対応していいのかわからず、涙が出そうになったこともありました」そうです。しかし、持ち前

来日して専門学校の日本語学科に入学し、採用直後の3月に無事卒業、4月からは介護福祉士を目指して、専門学校に入学しました。次々と新たなことに挑戦するバイタリティーに頭が下がる思いです。勿論、仕事にも意欲的で責任感の強さを感じます。

一方、日本語は少し心もとないところがあ

の粘り腰で頑張り、今では、どのご利用者からもタンに会うことを楽しみにされるほどの人気者に。特に写真を使ったレクリエーションでは、笑いを誘う巧みな話術が冴え、大変好評です。また、働きながらの通学で頑張っている姿は、皆が見習って行かなければならないと感じさせられます。